

うめきた2期ライフデザインイノベーションワークショップ

大阪におけるいのち輝く未来社会の共創

主催：うめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会 共催：大阪商工会議所・次世代医療システム産業化フォーラム／在日米国商工会議所ヘルスケア委員会

2024年に街びらきを迎える『うめきた2期』は、都心のみどりをフィールドとした実証環境などを通じ、様々な分野の企業が市民とともに社会課題を解決するライフデザインイノベーションの共創拠点として、関西及び国内外の各イノベーション拠点との結節点となるべくプロジェクトが進行している。他方、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、人びとのライフスタイル・ワークスタイルに対する価値観が劇的に変化し、同時に、健康・医療の分野においても、様々な社会課題が顕在化した。大阪においては、うめきた2期のほか、2025年の大阪・関西万博、夢洲開発など、人びとの心身の健康がコンセプトに含まれる大型の開発プロジェクトが進行しており、新たな価値観や様々なライフスタイル・ワークスタイルにスマートに対応した街づくりを実現し得る絶好の機会に恵まれている。この機会をとらまえ、様々な有識者がそれぞれの観点で、変化した価値観、さらに多様化した生活スタイルにスマートに対応した『いのち輝く未来社会』、『スマートウェルネスシティ』のあり方をテーマに、講演や国内外の事例紹介をオンラインセミナーの形式で複数回に分けて開催。さらに踏み込んだ詳細の議論はディスカッションを主体としたワークショップに移行する。

「データ駆動型未来社会のフラッグシップモデルとしてのうめきた2期への期待（仮）」

慶應義塾大学医学部教授
宮田 裕章氏

第1回

7月22日(水)

午前10時20分～12時

@ZOOMウェビナーによる開催

「健康づくり・医療のシームレスな連動の社会実装の可能性と課題（仮）」

大阪大学特任教授
国立循環器病研究センター名誉所員
妙中 義之氏